

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・観光客数は増加しており、土産物の売行きも好調を継続できる。ただし増税による失速も懸念される。
		観光型ホテル（スタッフ） 都市型ホテル（支配人）	・愛知万博の宿泊予約が非常に好調に入っている。 ・中部国際空港の開港、愛知万博の開催の良い影響が出てくる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・中部国際空港の開港や愛知万博の開催を前にして、例年よりは良くなる。
		商店街（代表者）	・中部国際空港の開港と愛知万博の開催があり購買は増えてくる。
		百貨店（企画担当）	・中部国際空港の開港や愛知万博開催の時期になり、国内外から多くの人々を迎えて、観光客はもちろん在住者の消費も活発化する。
		百貨店（企画担当）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催により、空港へのターミナルに立地している当店は来客数が増加する。大規模な売場改装も予定しており、売上も向上する。
		スーパー（店員）	・一時の野菜価格の高騰は収まっており、天候も通常の冬型となって作物供給は安定する。市場価格が落ち着けば客も例年通りの買物ができる。
		コンビニ（エリア担当）	・客の購買意欲はおう盛である。
		乗用車販売店（経営者）	・新型車の投入で購買意欲が高まる。新年早々の展示会で弾みをつけたい。
		乗用車販売店（従業員）	・暗いニュースが多かった年が明けて、若干は良くなっていく。
		その他小売〔雑貨卸〕 （経営者）	・現在の商品の動きや数か月先の商品需要から判断するとやや良くなる見込みである。
		その他飲食〔仕出し〕 （経営者）	・注文、問い合わせがあり、良い方向に動いている。
	旅行代理店（経営者）	・中部国際空港の開港で旅行需要は沸き立っている。	
	変わらない	商店街（代表者）	・必要以外の物は買ってもらえないため、個人消費は伸びない。
		一般小売店〔生花〕 （経営者）	・明るい材料がない。
		一般小売店〔薬局〕 （経営者）	・風邪やインフルエンザが流行しておらず、今後はアレルギー性鼻炎がはやるかどうかに左右される。
		百貨店（売場主任）	・客は次にどのような催事があるかをよく知っており、この時期はクリアランス待ちで買い控える客が多い。
		百貨店（企画担当）	・バーゲン商品の動きはまずまずであるが、定番商品の盛り上がりは期待できない。
		百貨店（経理担当）	・紳士服・洋品や外商売上が低調であり景気回復とはいえないが、催事によっては非常に好調であり潜在的な購買力はある。
百貨店（販売促進担当）		・中部国際空港の開港や愛知万博の開催で経済は全般的に活性化するが、一般の消費が上向くには時間がかかる。また新規商業施設がオープンするので客は分散してしまう。	
スーパー（経営者）		・天候不順で青果物など生鮮品は約50年ぶりに値段が高騰しており、客の消費も落ちている。また自然災害の影響で農産物関係は今後も良くならない。	
スーパー（経営者）		・大型店が出店し地元商店街でもスーパーが新規開店しており、想像もできない低価格で売り出している。	
スーパー（店長）		・大型店やショッピングモールのオープンが相次いでおり、当方のような小規模店はますます状況が悪くなる。	
スーパー（店長）		・お歳暮商戦では法人客は前年並みだったが個人客は低調である。個人消費が回復しなければ景気は回復しない。	
スーパー（経営企画担当）		・生活雑貨は当面現在の状況が続く。	
コンビニ（エリア担当）		・ファーストフードの売上は伸びているが、菓子、雑貨の動きは鈍くなっている。2月の期末に向けて競合他店の集中出店もある。	
衣料品専門店（企画担当）		・購買意欲を向上させる手段がない。現在のような消費スタイルが定着してしまっている。	
家電量販店（経営者）		・景気をけん引する個人消費が伸びていない。中小企業の経営内容もあまり良くなっていない。	

家電量販店（店員）	・暖冬傾向が続いており、冬物の販売量の回復が見込めない。	
乗用車販売店（従業員）	・今月が好調であるため、今後数か月は今以上には伸びることはない。	
乗用車販売店（従業員）	・2、3月の大キャンペーンに向けて受注数は上がってくる。しかし相次ぐ天災や増税への不安で高額車の受注は落ちている。できるだけ長く乗ろうと多少のお金がかかっても整備して今の車を使い続ける客も増えているため、受注はあまり期待できない。	
乗用車販売店（総務担当）	・企業業績が上向きでも個人消費を押し上げることに結びついていない。	
自動車備品販売店（経営者）	・年末商戦が販売拡大につながらなくなっている。カー用品の販売だけでなく、例えば車検など自動車関連分野を開発していかなければ伸びていけない。	
住関連専門店（店員）	・前年よりは良いが、季節に特化した商品以外の動きは鈍く、景気が上向き手ごたえはない。	
住関連専門店（営業担当）	・公共工事、会社関係の設備投資、工場、住宅すべて横ばいである。	
その他小売〔貴金属〕（経営者）	・自然災害や世情への不安感が残っており、年が明けても華やいだ雰囲気にはならない。	
一般レストラン（スタッフ）	・来客数の動きは毎月良くなったり悪くなったりで一定していない。今後も同様である。	
都市型ホテル（従業員）	・予約件数に大きな変動はない。	
都市型ホテル（スタッフ）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催で活気が出る。	
旅行代理店（経営者）	・スマトラ沖地震の津波の影響で海外旅行客の減少が懸念される。	
旅行代理店（経営者）	・中部国際空港の開港や愛知万博の開催が多少寄与するが、総じて景気はこのままで推移する。特に灯油の値上がり、定率減税の廃止、社会保険料の値上げなどが響いている。今後は消費税の値上げも予想され不安が大きい。	
旅行代理店（従業員）	・愛知県では中部国際空港の開港や愛知万博の開催で活気があるが、隣県の岐阜県では盛り上がっていない。イベント関連の商品もこれからで、問い合わせや申込みも低調である。	
タクシー運転手	・景気は底に近い状態である。消費者は不安感のためお金を使わないので、当業界は厳しい。	
タクシー運転手	・長年低迷しているが、今後もこの状況が続く。	
通信会社（企画担当）	・中部国際空港の開港や愛知万博の開催の影響がどう出るか注目しているが、プラス効果とマイナス効果で相殺され変わらないと思われる。	
通信会社（営業担当）	・新商品が発売になる。	
通信会社（開発担当）	・ソフトウェア受注量は来年度も今年度と同等が計画されている。	
テーマパーク（職員）	・一部産業では好景気が伝えられているが、観光産業にその兆しが現れるにはまだ時間がかかる。春までに回復することはない。	
テーマパーク（総務担当）	・来場者数に変化はない。また園内消費も伸びていない。	
観光名所（案内係）	・良くなるとは到底考えられない。また増税が近いと言われており、大変なことである。	
パチンコ店（経営者）	・現在は景気の踊り場にあるかやや下降気味でもある。	
パチンコ店（店長）	・新基準のパチンコ遊技機が導入されるが、スロットの客層がそこに流れるだけであり、各店舗の総遊技客数は増減しない。	
美容室（経営者）	・新しい客が増えているが、その一方でこれまでの常連客が他店に散っている。	
設計事務所（職員）	・3か月先の仕事状況は明確に把握できるが、既に愛知万博の仕事は終わっているもののこの先落ちていくことはない。	
設計事務所（営業担当）	・時給や賞与が減ることがあっても増えることはないため、今後も現在の状況が続く。	
住宅販売会社（従業員）	・収入が増えない人は、税金の増加分をカバーするため、住環境を我慢して家賃支出を抑える。若年層は愛知万博などの特需の影響もあり、変わらない。	
住宅販売会社（業務担当）	・需要の拡大をもたらす要因がないため、低迷は今後も続く。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・昨年はオリンピックの追い風があったが、今年は何もない。

商店街（代表者）	・競争相手が増える一方である。
一般小売店〔酒〕（経営者）	・ビールメーカーによる問屋へのリベート廃止でビール売価が値上げとなるため、買い控えにつながる。
一般小売店〔文房具〕（店員）	・増税になると手痛い。年末調整の返還金も少なくなり、購買意欲がなくなる。
百貨店（外商担当）	・株価が下がり客の購買力も落ちている。また各地の地震の影響による買い控えも起きている。
スーパー（店長）	・暖冬で年末需要は低下しているが、客単価も依然として回復がみられない。今後は増税への不安感から消費意欲は更に減退し始める。
スーパー（仕入担当）	・競合店の近隣への出店が決定しており、来客数、客単価ともに一層厳しくなる。
コンビニ（エリア担当）	・昨年に比べて工事関係者の来店が減っており、年度末需要も期待できない。
コンビニ（エリア担当）	・競合店も近隣に出店し、良くなる要素がない。
家電量販店（店員）	・物の動きが良くない。原油価格の高騰などで心理面も悪化している。
乗用車販売店（従業員）	・例年2月から3月は自動車販売は決算需要を迎える。しかし冬のボーナス商戦があまり盛り上がりなかったため、決算時期も客の購買意欲が盛り上がるか不安である。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・例年年末の動向が春先の動向に影響してくるが、年末の状況があまり良くなかった。
スナック（経営者）	・新年早々の客足は期待できるが、1月下旬から2、3月は例年通り暇になる。世間の景気は良いとはいえず歓送迎会がある4月まで我慢が必要である。
スナック（経営者）	・12月末で閉店する店がいくつかもあり、厳しい状況は変わりない。例年3月までは客足も鈍る。
都市型ホテル（スタッフ）	・今後の予約状況が良くない。
旅行代理店（経営者）	・愛知万博開催の効果が静岡県まで波及する見込みは薄い。
旅行代理店（従業員）	・スキー客は毎年減り続けているが、今年は暖冬で更に減少する。
タクシー運転手	・中部国際空港の開港や愛知万博の開催があるが、岐阜県西部地域ではその影響を全く受けない。夜のタクシーをやっていると厳しさを肌で感じる。
タクシー運転手	・例年年明けはスキーやバスツアーに出かける客があるが、暖冬のためこのような客は少なくなる。また中部国際空港が開港するが、これまでの名古屋空港よりも公共交通が便利のため、空港へのタクシー客は減少する。
通信会社（営業担当）	・値引き競争は今後も続き、利益はますます減少する。
ゴルフ場（経営者）	・愛知県全体の来場者数が前年に比べて減っている。予約が入るのも遅くなっている。料金も競争が一段と激しい。今後来場者は減り価格も低下する。
ゴルフ場（企画担当）	・来場者数は前年より増加する。しかし冬場は天候に大きく左右されるため不透明である。今後イベントの開催をいくつか予定しているが、それでも現在の来場者数を確保するのが精一杯である。
美容室（経営者）	・年末は客が増えたが、イベント時にしか来店しない状態が続いているため、当分は暇な日が続く。
美容室（経営者）	・客の顔ぶれは変わらないが、来店間隔が伸びている。
理美容室（経営者）	・年末で忙しいはずの時期なのに、こんなに暇である。今後はもっと悪くなる。
設計事務所（経営者）	・現時点では2、3か月先に実施設計となりそうな計画案件がない。
住宅販売会社（企画担当）	・天災などもあり住宅業界にとって良いニュースがなかなか流れず、客は慎重になるばかりである。
その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・例年1月は販売量が激減するが、今年も年明け早々受注に関しての問い合わせや依頼はほとんどない状態である。
悪くなる	一般小売店〔時計〕（経営者） ・隣街に大型アウトレットモールができるため、来客数は更に減る。 コンビニ（経営者） ・ビールと発泡酒のオープン価格化が1月1日より実施されるため、問屋からの仕入価格は実質5%ほど高くなる。ディスカウント店やスーパーはビールや発泡酒を目玉商品にできなくなるが、その一方で酒類免許の自由化に伴う厳しさが増す。

		衣料品専門店（経営者）	・景気の悪化に加えて暖冬が続き、明るさが見えない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・メーカーが撤退する方向にある。
		高級レストラン（スタッフ）	・現在は一品料理を推奨している効果で客単価が上がっており、来客数の減少分をカバーしている。しかしこれ以上客単価が上がることはなく、いずれ来客数の減少が業績に反映してくる。
		一般レストラン（経営者）	・現在では全く明るい見通しが立たない。
		設計事務所（経営者）	・名古屋は現在中部国際空港の開港と愛知万博の開催の景気に沸いているが、この影響で既に物不足が起こっており、物と人の単価が上がっている。
		住宅販売会社（経営者）	・住宅購入者数は年々減っている。今後の需要も少なくなる一方である。
		住宅販売会社（従業員）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催という特需はあるが、その影響が岐阜県まで波及することはない。また住宅ローン減税の縮小もあり、その他税務面の改善もない。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	-	-
		電気機械器具製造業（営業担当）	・年度末に向かって業界はある程度活性化する。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・引き合いが多くなっている。
		輸送業（エリア担当）	・年度末に向かって人と物が動く。
		輸送業（エリア担当）	・中部国際空港の開港で、今まで成田空港、関西国際空港経由となっていた貨物が中部地区に向かって流れる可能性がある。航空貨物は引き続き良くなる。
		金融業（従業員）	・取引先や周囲の客の様子を見ていると、数か月後は景気が上昇する雰囲気がある。
		その他非製造業〔デザイン〕（経営者）	・新年度のプロジェクトが動き出す。
変わらない		印刷業（営業担当）	・現状から判断すると、とても景気が回復する状況ではない。
		化学工業（企画担当）	・今までと状況は変わらない。公共事業関連が一息つけば景気は少し悪くなる。
		化学工業（人事担当）	・円高やイラク情勢など外的要因で悪くなる。
		金属製品製造業（従業員）	・現状水準で維持する。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・今期末にかけて足元の調整に追われる状況が続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・国内向けは、一部拠点で年度末に向けての案件が出ており、前年とほぼ同レベルの売上が見込まれる。米国向けもほぼ同レベルを見込んでいるが、為替が1ドル105円以下で長期的に推移するようなら収益面に影響が出てくる。
		電気機械器具製造業（従業員）	・官公庁関係のスポット受注が終わると受注増は見込めず、今後は横ばいか若干減少する。
		電気機械器具製造業（従業員）	・消費者の可処分所得が増加することはないため、衣料品への節約傾向も続き、縫製メーカーにも影響が出てくる。また衣料品の国際輸入枠の廃止の影響は織り込み済みとはいえ、しばらくは模様眺めとなる。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・主要取引先の再建計画の具体策が来年1月末に提示されるため、それまでは不透明である。現在は最低の状況であり、これ以上悪くはならない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	・増税や社会保障の負担増への心配に加えて外国為替や原油価格の動向も消費を手控える心理的要因となっており、これがメーカーにも影響する。
		建設業（経営者）	・当地区での設備投資の動きは引き続き堅調である。
		輸送業（エリア担当）	・最も荷物の動く12月に食料品の荷動きも悪い状況であり、今後の見通しも暗い。
		輸送業（エリア担当）	・燃料費が高止まりになり、今後も下がらない。また運賃値上げの要請も思うようにならない。
やや悪くなる		広告代理店（経営者）	・年賀状の発行枚数を控える顧客が増えている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・原油価格の高騰などの影響が出てくる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・窯業界の先行指数となる新住宅着工件数が一段落している。また増税や社会保障料の負担増が予想されており、2～3か月先の景気は幾分後退する。

		鉄鋼業（経営者）	・年明けの販売単価は国内需要の停滞に引っ張られて低下する。
		金属製品製造業（従業員）	・次のプロジェクトの谷間期にあたり、仕事量は一時的にせよ激減する。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注量は若干増えるが単価的には厳しい状況が続く。企業利益は確保できているが従業員の年収は変わっておらず、今後消費が上向くことはない。
		輸送業（従業員）	・暖冬の影響で冬物の荷動きが悪い。これから例年並みに寒くなっても商品の購買には結び付かず、景気は沈滞気味である。
		広告代理店（制作担当）	・クライアント企業からの依頼で、数量を減らしたり印刷用紙の質を落とすなどして少しずつ予算を削られるケースがある。
		経営コンサルタント	・コンサルティング先の賞与状況も良くなく、所得は増えていない。金利上昇も予想され、住宅購入は手控えられる。不動産供給の増加のなか需要は減っており、地価の下落は今後も進む。
		会計事務所（職員）	・消費者には定率減税の一部廃止があるが、事業者も確定申告の損益通算の一部廃止などがあり税負担は重くなる。その影響が出てくる。
	悪くなる	非鉄金属製品製造業【鋳物】（経営企画担当）	・原材料の高騰、市場の縮小はまだ継続する。さらに販売競争も一層激化する。
雇用 関連	良くなる	職業安定所（所長）	・好調な自動車関連企業に引っ張られるように、卸小売業や輸送業からの求人も増加傾向にあり、雇用全体の底上げがある。
		学校【大学】（就職担当）	・建設、食料品や紳士服などの卸小売、オフィス家具の製造業では追加求人があるなど前年に比べて採用意欲が出ている。売上が期待できるようになっているが、これまで採用抑制をしていたことに加えて定年退職者が増えていることが影響している。
やや良くなる		人材派遣会社（社員）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催が近づくにつれて派遣求人が増加しつつあり、先行きは大いに期待できる。
		人材派遣会社（社員）	・派遣以外に契約社員や正社員の採用に積極的な企業も出てきている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・不透明感はあるものの、企業の来年度の採用計画はおおむね今年並みかそれ以上で推移する。第二新卒をはじめとする人材の流動化は加速する。
		民間職業紹介機関（職員）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催を控えているため、引き続き堅調である。
変わらない		人材派遣会社（社員）	・各社とも業務量が増えており、派遣社員のニーズは相変わらず堅調である。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・IT関連に若干陰りがみられるが、輸送用関連機器の生産はそれを上回っている。今後も求人数は求職者数を上回る。
		新聞社【求人広告】（営業担当）	・求人職種では技術系と販売系の倍率が高く、これが全体を押し上げている。しかし事務系と管理系の募集は少ない。景気が良くなる時は全職種で求人が増加するため、現在は横ばいである。
		新聞社【求人広告】（担当者）	・中部国際空港の開港、愛知万博の開催と続き、それなりに求人数はあるが、相変わらずパート、アルバイトや業務請負が中心である。
		職業安定所（職員）	・建設業では発注件数や請負金額の前年同期比が11か月ぶりにプラスに転じている。製造業も輸送用機械器具製造業が好調を保っており、その他製造業の求人も比較的安定している。 ・しかし企業は雇用調整に対応するため請負や人材派遣の活用などアウトソーシング化を一層進めており、求人求職のミスマッチは継続している。
		職業安定所（職員）	・有効求人数は派遣と請負を中心に増加傾向にある。しかし賃金条件は低く設定され雇用条件は良くならない。
		学校【専門学校】（就職担当）	・各種メディアを通じてのアルバイト募集や職安を通じてのパート、契約社員の募集は、夏までと比べてかなり減っている。
やや悪くなる		求人情報誌製作会社（編集者）	・8月以降求人数は徐々に減少している。今月は今年最低だった4月と同レベルになっている。しかも2、3年前との同月比で最も数値が悪い。名古屋はイベントやニューオープンが続いているのに求人は短期雇用へと流れている。

	求人情報誌製作会社 (企画担当)	・求人は中部国際空港や愛知万博の特需もそろそろ頭打ちである。今後はやや下降傾向になる。
	職業安定所(職員)	・現在は求人数は増加し求職者数は減少している。しかし製造業の求人数が頭打ちとなっている。また求人求職のミスマッチも徐々に拡大する。
	職業安定所(管理部門 担当)	・求人の増加が予想されるものの、求人と求職のミスマッチの拡大が懸念される。
悪くなる	-	-